

ボトムアウト

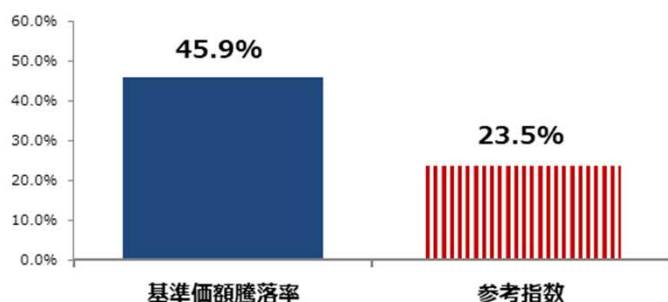
シェール関連株オープン
追加型投信／海外／株式

2021年4月23日

平素は「シェール関連株オープン」に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当ファンドは、2021年4月9日に第16期決算を迎えました。本レポートでは、第16期決算の運用報告および今後の見通しについてご報告させていただきます。

パフォーマンスサマリー

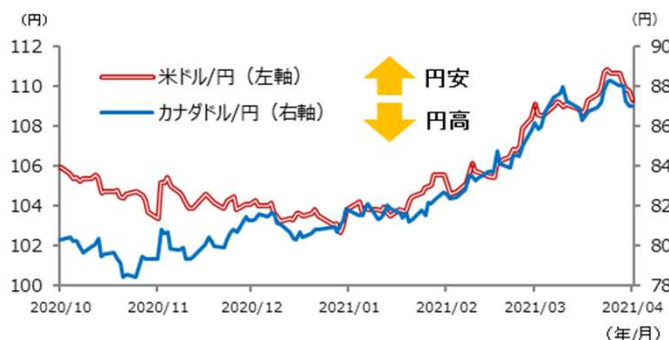
図表1 シェール関連株オープンの基準価額騰落率
(2020年10月10日～2021年4月9日)



※ 参考指数は、S&P500種指数（配当込み、円換算ベース）です。
(注) S&P Dow Jones Indices LLCの各インデックスは、S&P Dow Jones Indices LLCが発表しており、著作権はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属しています。

図表2 為替レート

(2020年10月9日～2021年4月9日、日次、TTMベース)



(出所) Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

原油価格の反発を受けて上昇

第16期の基準価額騰落率は、**+45.9%**となりました。(図表1)

当ファンドのマザーファンドが投資する石油・ガス探査・開発株や総合石油・ガス株の上昇が基準価額に対しプラスに寄与しました。

為替市場については、**円が米ドルやカナダドルに対して下落(円安)したため、基準価額に対しプラスに寄与しました。**(図表2)

基準価額推移

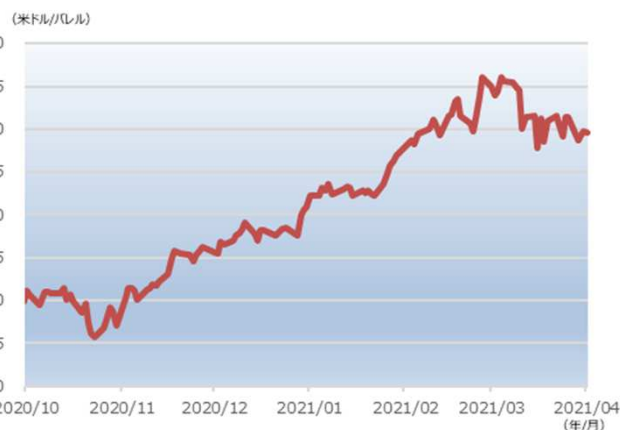
図表3 シェール関連株オープンの基準価額推移
(2020年10月9日～2021年4月9日、日次)



(注) 2020年10月9日を10,000として指数化

(出所) Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

図表4 ウェスト・テキサス・インターメディアイト (WTI) 原油先物価格の推移
(2020年10月8日～2021年4月8日、日次)



図表3は、第16期の基準価額と参考指数の動きを比較したものです。期初の下落局面において参考指数を下回る場面があったものの、その後は原油価格の上昇を好感して上昇し、通期では**参考指数を上回りました。**

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「シェール関連株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

シェール関連株オープン
追加型投信／海外／株式

投資行動

図表5 組入上位業種の推移

| 第15期決算末 組入上位業種 | | | 第16期決算末 組入上位業種 | | |
|----------------|------------|-------|----------------|------------|-------|
| | 産業サブグループ | 比率 | | 産業サブグループ | 比率 |
| 1 | 石油・ガス探査・開発 | 29.7% | 1 | 石油・ガス探査・開発 | 37.4% |
| 2 | 石油・ガス貯蔵・輸送 | 21.7% | 2 | 石油・ガス貯蔵・輸送 | 14.3% |
| 3 | 鉄道 | 10.4% | 3 | 総合石油・ガス | 12.8% |
| 4 | 石油・ガス精製・販売 | 8.3% | 4 | 石油・ガス精製・販売 | 7.1% |
| 5 | 総合石油・ガス | 7.8% | 5 | 基礎化学品 | 7.1% |

図表6 国・地域別比率の推移

| 第15期決算末 組入上位国・地域 | | | 第16期決算末 組入上位国・地域 | | |
|------------------|------|-------|------------------|------|-------|
| | 国・地域 | 比率 | | 国・地域 | 比率 |
| 1 | 米国 | 76.8% | 1 | 米国 | 83.1% |
| 2 | カナダ | 19.4% | 2 | カナダ | 13.2% |

※図表5、6の比率は、シェール関連株マザーファンドの純資産総額に対する組入比率です。
※業種は、GICS（世界産業分類基準）の産業サブグループです。
※国・地域は発行国で表示しています。

主に、北米のシェール産地において石油や天然ガスの掘削・生産を行う**石油・ガス探査・開発株**や、石油や天然ガスを輸送するパイプラインや貯蔵施設を管理・運営する**石油・ガス貯蔵・輸送株**を高位にウェイト付けしたポートフォリオで運用しました。

期中の投資行動としては、**石油・ガス探査・開発株**や**総合石油・ガス株のウェイトを引き上げ**ました。一方、カナダから米メキシコ湾に原油を運ぶ「キーストンXLパイプライン」の建設計画が、バイデン大統領により認可取り消しとなったことを受け、**石油・ガス貯蔵・輸送株のウェイトを引き下げ**ました。また、鉄道株についても一部を売却しました。（図表5）

国・地域別では、**カナダ株のウェイトを引き下げ**ました。一方、米国の石油・ガス探査・開発株や総合石油・ガス株の買付けを行いました。（図表6）

個別銘柄寄与上位

図表7は、第16期の基準価額上昇に寄与した上位銘柄です。**シマレックス・エナジー**や**パイオニア・ナチュラル・リソース**、**ダイヤモンドバック・エナジー**など、良質なシェール産地を保有し、生産コストが低い石油・ガス探査・開発株の保有がプラスに寄与しました。

また、厳しい事業環境の中、合併・買収（M&A）が増加したことから、**買収提案を受けて株価が上昇した銘柄を保有していたことも、プラスに寄与**しました。銘柄としては、パイオニア・ナチュラル・リソースによって買収された**パースリー・エナジー**が挙げられます。

加えて、財務状況が強固で継続して配当を支払える余力がある**エクソンモービル**や**シェブロン**などの**総合石油・ガス株**が上昇したことも、基準価額の上昇に寄与しました。

図表7 基準価額への寄与上位銘柄
(2020年10月10日～2021年4月9日)

| 第16期 寄与上位銘柄 | | | |
|-------------|-------------------|------------|------|
| | 銘柄名 | 産業サブグループ | 国・地域 |
| 1 | シマレックス・エナジー | 石油・ガス探査・開発 | 米国 |
| 2 | パイオニア・ナチュラル・リソース | 石油・ガス探査・開発 | 米国 |
| 3 | ダイヤモンドバック・エナジー | 石油・ガス探査・開発 | 米国 |
| 4 | パースリー・エナジー(被買収銘柄) | 石油・ガス探査・開発 | 米国 |
| 5 | デボン・エナジー | 石油・ガス探査・開発 | 米国 |
| 6 | エクソンモービル | 総合石油・ガス | 米国 |
| 7 | シェニール・エナジー | 石油・ガス貯蔵・輸送 | 米国 |
| 8 | ハス | 石油・ガス探査・開発 | 米国 |
| 9 | マラソン・ペトロリアム | 石油・ガス精製・販売 | 米国 |
| 10 | シェブロン | 総合石油・ガス | 米国 |

(※) 国・地域は発行国で表示しています。
(出所) Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

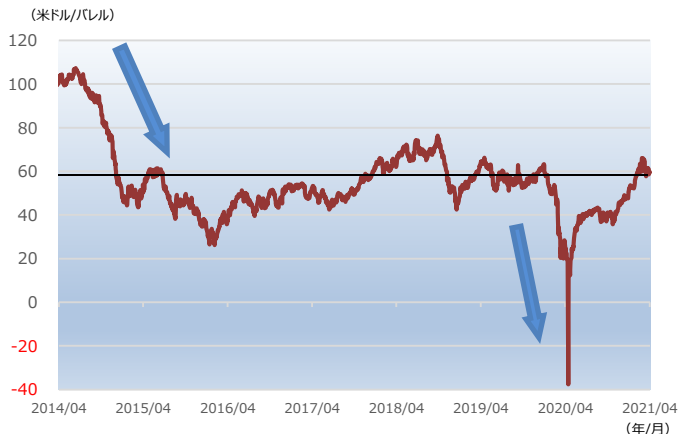
<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「シェール関連株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みには、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

シェール関連株オープン
追加型投信／海外／株式

今後の市場見通しと投資戦略①

図表8 ウェスト・テキサス・インターミディエイト (WTI) 原油先物価格の推移
(2014年4月8日～2021年4月8日、日次)



原油価格はボトムアウト

図表8は、過去7年間のWTI原油先物価格の推移です。この間、原油価格は、**ショックによる急落局面が2度**ありました。

1度目は、**2014年の石油輸出国機構 (OPEC) 総会における減産見送り**です。当時は、シェールオイルの生産増加で需給環境が悪化しており、OPECによる減産対応が行われると予想されていましたが、OPECは予想に反して減産を行わず、価格勝負による消耗戦を選択しました。この影響により、2016年には**WTI先物価格は30ドル割れまで急落**しました。

2度目は、今回のコロナ禍です。前回のショックから回復しつつあったWTI先物価格は、需要の急激な落ち込みと貯蔵施設の不足から、**一時的にマイナス圏まで急落**しました。

一時的であれ、原油先物価格がマイナスになったという事実は、市場参加者の心理が、「陰の極」まで傾いた象徴的な出来事と考えられます。今回の大底からの反発により、**原油価格の下落は、二番底を打ってボトムアウト**したと考えています。

生産量増加と価格安定化を予想

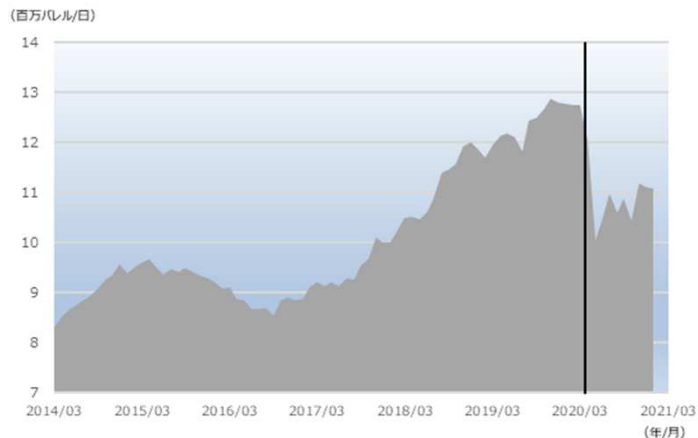
直近のWTI原油先物価格は、コロナ禍以前の水準まで回復しています。(図表8) 一方、米国の原油生産量は、底打ちしたものの、未だに低い水準です。(図表9、10)

また、OPECと非加盟主要産油国で構成されるOPECプラスによる協調減産が行われたことから、昨年末の時点で**世界の原油需給は、需要が供給を上回る状況**となっています。(図表11)

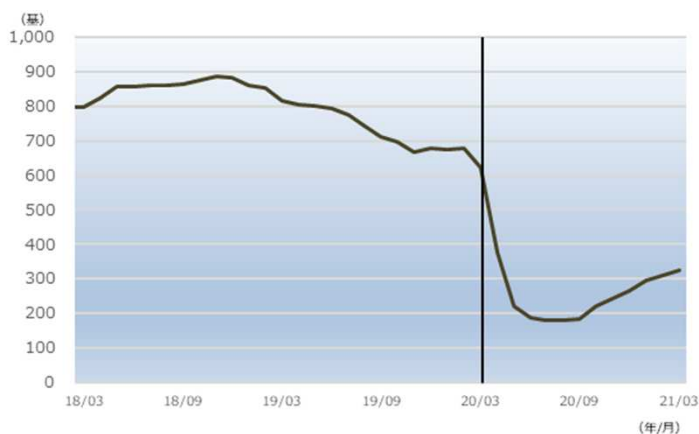
このため、今後は米国の原油生産量も増加するものと考えられ、**シェール関連企業の業績に追い風**になると予想しています。

一方、原油価格の見通しについては、OPECプラスの減産が段階的に縮小されることや、北米の原油生産量も増加が見込まれることから、直近までの上昇は一服し、**WTI先物価格で70ドル前後の水準で推移**するものと想定しています。

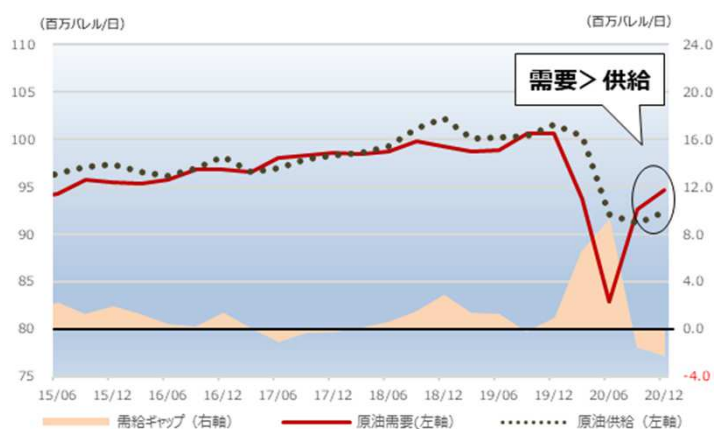
図表9 米エネルギー省 (DOE) 発表による米国原油生産量の推移
(2014年3月～2021年1月、月次)



図表10 米国原油掘削リグ数の推移
(2018年3月～2021年3月、月次)



図表11 国際エネルギー機関 (IEA) による世界の原油需給予測の推移
(2015年6月～2020年12月、四半期)



(出所) 図表8～11は、米石油サービス会社ベーカー・ヒューズ等の各種資料、Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「シェール関連株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みには、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

シェール関連株オープン
追加型投信／海外／株式

今後の市場見通しと投資戦略②

図表12 主な北米石油・ガス関連株の合併・買収（M&A）案件
（2020年1月～2021年3月、米ドルベース）

| 被買収側 | 国 | 買収側 | 国 | 発表日 | 買収金額（発表時） （百万米ドル） |
|--------------------|-----|-------------------|-----|----------|----------------------|
| コンチョ・リソーシズ | 米国 | コノコフィリップス | 米国 | 2020年10月 | 13,291 |
| ノーブル・エナジー | 米国 | シェブロン | 米国 | 2020年7月 | 12,681 |
| ハスキー・エナジー | カナダ | セノバス・エナジー | カナダ | 2020年10月 | 8,023 |
| パースリー・エナジー | 米国 | パイオニア・ナチュラル・リソーシズ | 米国 | 2020年10月 | 7,358 |
| WPXエナジー | 米国 | デボン・エナジー | 米国 | 2020年9月 | 5,952 |
| T Cパイプラインズ | 米国 | T Cエナジー | カナダ | 2020年12月 | 3,771 |
| セブン・ジェネレーションズ・エナジー | カナダ | A R Cリソーシズ | カナダ | 2021年2月 | 3,647 |
| Q E Pリソーシズ | 米国 | ダイヤモンドバック・エナジー | 米国 | 2020年12月 | 2,184 |

（注）被買収企業が上場企業だった案件を抽出
（出所）各種資料より岡三アセットマネジメント作成

厳しい環境下で企業の淘汰が進む

原油価格急落を受け、中東の産油国と比較して、相対的に生産コストが高いシェール関連株は、中小企業を中心に破綻する企業が増加しました。また、優良なシェールオイル・ガスの生産盆地を保有する企業であっても、株価の下落時を狙われ、体力のある大手や総合石油企業に**合併・買収（M&A）**される案件が相次ぎました。（図表12）

この結果、米国のS&P石油・天然ガス探査・開発株セレクトインダストリー指数の採用銘柄数は、7年前と比較して40社近く減少しており、**企業の淘汰が進んでいます**。（図表13）

この結果、高コストの限界的な探査・開発企業が市場から退出させられ、質の高い企業への集約が進んだことにより、**シェール関連企業の損益分岐（ブレイクイーブン）原油価格は、低下傾向**にあります。

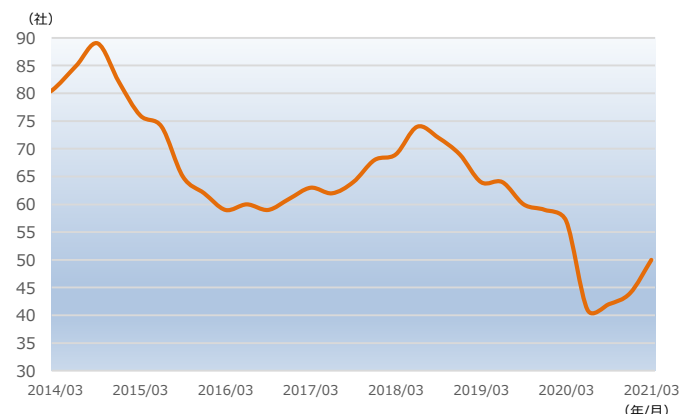
図表14は、米国最大のシェールオイル・ガスの生産地であるパーミアン盆地のミッドランド地区におけるブレイクイーブン原油価格の推移です。2019年までは、50ドル/バレル以上の水準でしたが、直近は40ドル台前半まで低下しており、**シェール関連企業の競争力が向上**していることが推察されます。

生き残った質の高い銘柄を更に選別して投資

当ファンドの投資戦略としては、厳しい環境の中で生き残った銘柄の中から、**財務体質の強さや、生産コスト、確認埋蔵量の増加率などに重点を置いて銘柄を選別**します。

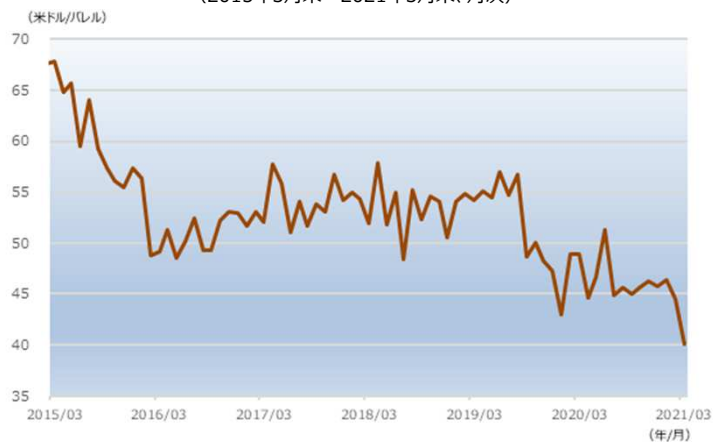
また、原油価格の変動に柔軟に対応し、設備投資やM&A、株主還元などの資本戦略の効率性向上に努めている銘柄に投資する方針です。

図表13 S&P石油・天然ガス探査・開発株セレクトインダストリー指数採用銘柄数の推移
（2014年3月～2021年3月、四半期）



（注）S&P Dow Jones Indices LLCの各インデックスは、S&P Dow Jones Indices LLCが発表しており、著作権はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属しています。

図表14 パーミアン盆地の損益分岐（ブレイクイーブン）原油価格の推移
（2015年3月末～2021年3月末、月次）



（注）損益分岐点価格は、パーミアン盆地ミッドランド地区の価格です。

（出所）図表12～14は各種資料、Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

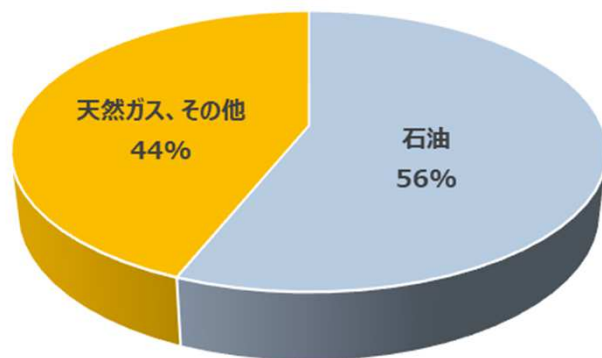
<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「シェール関連株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みには、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

シェール関連株オープン
追加型投信／海外／株式

個別銘柄紹介 パイオニア・ナチュラル・リソース：石油・ガス探査・開発

図表15 パイオニア・ナチュラル・リソースのコモディティ別日量生産比率
(2020年第4四半期、石油換算バレル/日)



図表16 パイオニア・ナチュラル・リソースの日量平均生産量
(2018年第1四半期～2020年第4四半期)



良質なシェール生産盆地を持つ探査・開発企業

パイオニア・ナチュラル・リソースは、**パーミアン盆地で石油及び天然ガスの探査・開発を行う企業**です。(図表15)

同社は、パーミアン盆地の中でも、特に良質とされるミッドランド地区とデラウェア地区に生産地を保有しており、これまで安定的に生産量を拡大しています。(図表16)

同社の**ブレイクイーブン原油価格は、30ドル/バレル以下**とされており、これはシェール関連の探査・開発企業の中では、最も低い水準にあると考えられます。この生産コストの低さが武器となり、多くの競合他社が赤字に陥った2020年度においても、**同社は黒字を維持**しています。

攻めの経営姿勢を貫く

多くのシェール関連企業が苦戦する中、パイオニア・ナチュラル・リソースは、攻めの経営を選択しています。2020年10月に、パーミアン盆地で生産を行う競合のパーズリー・エナジーを約73億米ドルで買収しています。加えて、2021年4月には、同様にパーミアン盆地の探査・開発企業であるダブルポイント・エナジー(非上場)を投資会社から約63億米ドルで買収し、**積極的なM&A戦略でパーミアン盆地で保有する原油埋蔵量を拡大**させました。

また、自社の業績見通しに対する自信の表れとして、原油価格が下落する中でも、同社は**1株当たり配当金の引き上げ**を発表し、増配を継続しています。(図表17)

原油価格の反発と、同社の事業拡大への期待から、過去1年間のパイオニア・ナチュラル・リソースの株価は、市場平均をアウトパフォームしています。(図表18)

図表17 パイオニア・ナチュラル・リソースの1株当たり配当金推移
(2017年～2021年、2021年は推計)



図表18 パイオニア・ナチュラル・リソースの株価推移
(2020年3月31日～2021年3月31日、日次、配当込み、米ドルベース)



※ 図表15は、同社投資家向け資料のデータを使用
(出所) 図表15～18は各種資料、Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

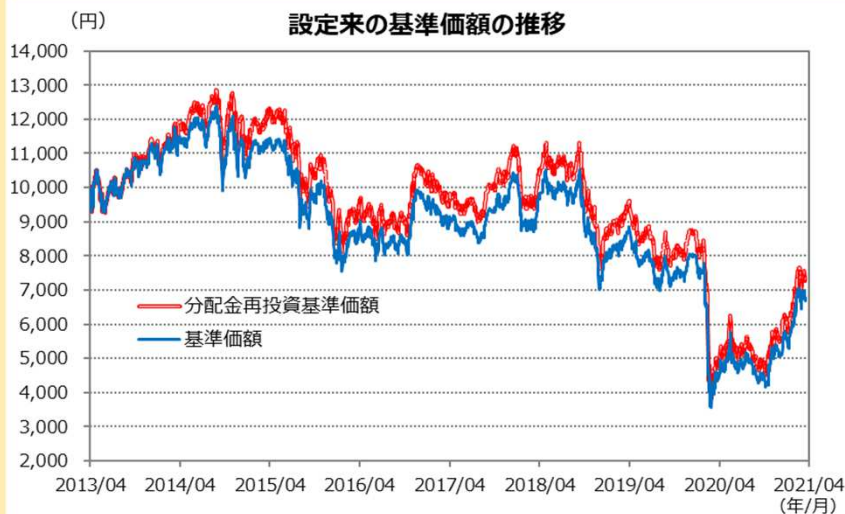
本資料における銘柄紹介は、情報提供を目的とするものであり個別銘柄への投資を推奨するものではありません。

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「シェール関連株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様自身で行っていただきますようお願いいたします。

シェール関連株オープン
追加型投信／海外／株式

運用状況（作成基準日 2021年4月9日）



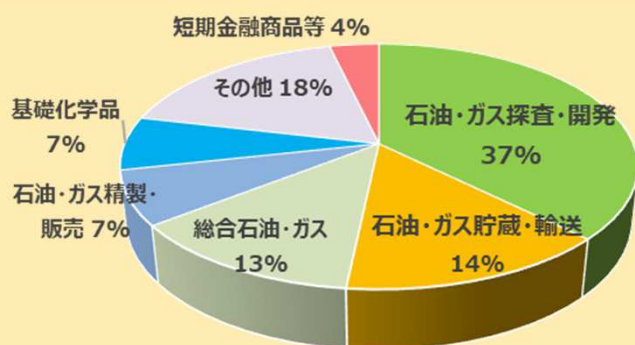
※基準価額は1万円当たり、信託報酬控除後です。
※分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

| ファンドデータ | |
|---------------|-------------|
| 基準価額 (円) | 6,682 |
| 残存元本 (口) | 983,016,065 |
| 純資産総額 (円) | 656,840,124 |
| 実質株式組入比率 (%) | 93.8 |
| 短期金融商品その他 (%) | 6.2 |
| 組入銘柄数 | 51 |

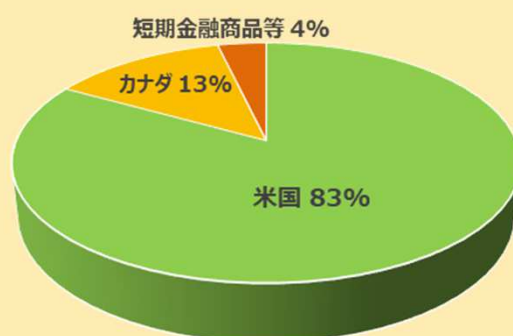
| 直近5決算期 | 分配金 (円) |
|--------------------|---------|
| 第16期 (2021年04月09日) | 0 |
| 第15期 (2020年10月09日) | 0 |
| 第14期 (2020年04月09日) | 0 |
| 第13期 (2019年10月09日) | 0 |
| 第12期 (2019年04月09日) | 0 |

※比率は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合があります。
※各決算期における分配金は1万円当たり(税引前)です。

業種別構成比 (2021年4月9日、円ベース)



地域別構成比 (2021年4月9日、円ベース)



組入上位銘柄 (2021年4月9日、円ベース)

| 第16期決算末 組入上位10銘柄 | | | | |
|------------------|-------------------|------------|------|------|
| | 銘柄名 | 産業サブグループ | 国・地域 | 比率 |
| 1 | シェブロン | 総合石油・ガス | 米国 | 5.3% |
| 2 | エクソンモービル | 総合石油・ガス | 米国 | 5.2% |
| 3 | パイオニア・ナチュラル・リソースズ | 石油・ガス探査・開発 | 米国 | 4.6% |
| 4 | ダイヤモンドバック・エナジー | 石油・ガス探査・開発 | 米国 | 4.4% |
| 5 | シマレックス・エナジー | 石油・ガス探査・開発 | 米国 | 4.3% |
| 6 | シェニール・エナジー | 石油・ガス貯蔵・輸送 | 米国 | 3.9% |
| 7 | デボン・エナジー | 石油・ガス探査・開発 | 米国 | 3.2% |
| 8 | ヘス | 石油・ガス探査・開発 | 米国 | 3.1% |
| 9 | ワンオーケー | 石油・ガス貯蔵・輸送 | 米国 | 3.1% |
| 10 | マラソン・ペトロリアム | 石油・ガス精製・販売 | 米国 | 2.9% |

※比率は、シェール関連株マザーファンドの純資産総額に対する組入比率です。
※国・地域は発行国で表示しています。

(作成 : 運用本部)

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「シェール関連株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



シェール関連株オープン
追加型投信／海外／株式

シェール関連株オープンに関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様にご帰属します。ファンドは、米国、カナダおよびメキシコの株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「流動性リスク」があります。その他の変動要因としては「信用リスク」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
 - 購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.30%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
 - 換金手数料：ありません。
 - 信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
 - 運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.705%（税抜1.55%）
- その他費用・手数料
 - 監査費用：純資産総額×年率0.0132%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれる場合があります。

| 商号 | 登録番号 | 加入協会 | | | |
|-------------------|-----------------|---------|-------------------------|-------------------------|----------------------------|
| | | 日本証券業協会 | 一般社団法人 日本投資 顧問業協会 | 一般社団法人 金融先物 取引業協会 | 一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会 |
| (金融商品取引業者) | | | | | |
| 岡三証券株式会社 | 関東財務局長(金商)第53号 | ○ | ○ | | ○ |
| 岡三オンライン証券株式会社 | 関東財務局長(金商)第52号 | ○ | ○ | ○ | |
| 岡三にいがた証券株式会社 | 関東財務局長(金商)第169号 | ○ | | | |
| 阿波証券株式会社 | 四国財務局長(金商)第1号 | ○ | | | |
| 臼木証券株式会社 | 関東財務局長(金商)第31号 | ○ | | | |
| 永和証券株式会社 | 近畿財務局長(金商)第5号 | ○ | | | |
| 株式会社SBI証券 | 関東財務局長(金商)第44号 | ○ | | ○ | ○ |
| 香川証券株式会社 | 四国財務局長(金商)第3号 | ○ | | | |
| 寿証券株式会社 | 東海財務局長(金商)第7号 | ○ | | | |
| 三縁証券株式会社 | 東海財務局長(金商)第22号 | ○ | | | |
| 静岡東海証券株式会社 | 東海財務局長(金商)第8号 | ○ | | | |
| 大山日ノ丸証券株式会社 | 中国財務局長(金商)第5号 | ○ | | | |
| 東武証券株式会社 | 関東財務局長(金商)第120号 | ○ | | | |
| 播陽証券株式会社 | 近畿財務局長(金商)第29号 | ○ | | | |
| 光証券株式会社 | 近畿財務局長(金商)第30号 | ○ | ○ | | |
| フィデリティ証券株式会社 | 関東財務局長(金商)第152号 | ○ | ○ | | |
| 益茂証券株式会社 | 北陸財務局長(金商)第12号 | ○ | | ○ | |
| 三木証券株式会社 | 関東財務局長(金商)第172号 | ○ | | | |
| 三田証券株式会社 | 関東財務局長(金商)第175号 | ○ | | | |
| 楽天証券株式会社 | 関東財務局長(金商)第195号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 愛媛証券株式会社 | 四国財務局長(金商)第2号 | ○ | | | |
| (登録金融機関) | | | | | |
| 株式会社イオン銀行 | 関東財務局長(登金)第633号 | ○ | | | |
| 株式会社千葉興業銀行 | 関東財務局長(登金)第40号 | ○ | | | |
| 株式会社東北銀行 | 東北財務局長(登金)第8号 | ○ | | | |

(注)販売会社によっては、現在、新規のお申込みを受け付けていない場合があります。

<本資料に関するお問合わせ先>

フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)